

一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会  
第2回理事会議事録

1. 開催された日時 2020年9月3日(木) 14時00分～15時35分

2. 開催された場所 一般社団法人 大阪府医師会 7階71会議室  
(大阪市天王寺区上本町2丁目1番22号)

3. 理事総数及び定足数 総数24名、定足数13名

4. 出席状況 20名

出席理事：立石容子(会長)、高澤洋子(副会長)、松井由加里(副会長)

松本康代(副会長)、山口恵子(副会長)、梶山直美、藤井照代、長濱あかし  
山崎京子、米原早苗、芋生和代、井坂徳子、井上ゆかり、村山真弓、塩津浩美  
山本克美、原田かおる、山本 恵、宮川光代、山本ゆかり

欠席理事：中尾正俊、小野恵美子(副会長)、前川たかし、岩出るり子

出席監事：安田照美、雨師みよ子

欠席監事：前久保邦昭

5. 議事

議事は松本康代副会長の司会で定足数の確認後、立石容子を議長とし、議事録署名人として議長及び安田照美および雨師みよ子3人の監事を選出し、開会した。

6. 報告事項

1) 本会実施の事業報告

議長の指名により、以下の事項につき各担当理事より報告があった。

(1) 外部会議等

議長より、各種外部会議については、後ほど活動報告にて担当理事から詳細報告されることが述べられ、ここでは資料1を基に、当協会の役員が参加する外部会議の一覧表を確認した。

(2) 間接補助事業

指名により、事務局から間接補助事業の執行状況の報告がなされた。

(3) 専門研修事業および新任、中堅研修

指名により、松井由加里副会長から、資料2(研修計画と実施一覧表)を基に、実施状況の報告がなされた。

今年度は新型コロナウイルスの影響で集合研修はzoom オンライン研修に代えて実施されたが、受講者からは座学を含め演習においても手持ちカメラの利点を活用した試みで好評を得ていることが併せて報告された。

#### (4) インターンシップ事業

指名により、高澤洋子副会長からコロナの影響で、訪問看護1日体験を半日とし、利用者宅への訪問を控えた変更事業案で実施に努めたが、20名程度の応募に留まったため、今年度はやむなく中止の判断に至ったことが報告された。

なお、代替案として訪問看護PR動画作成を検討中であることが併せて報告された。

#### (5) その他

##### ①zoom体験等 実施・参加報告

議長より、資料3を基に研修をオンライン化したことに伴い、受講者はzoomの習熟が不可欠であるため、6月から開始した以下の体験研修実施および参加状況が報告された。

ア.「はじめてでもできるzoomチャレンジ体験研修」 開催3回 参加者31名

イ.「Mini zoom体験」(毎月1回) 開催2回 参加者2名

##### ②精神科訪問看護研修会実施報告

指名により松井副会長より、標記研修会の実施結果につき、資料4の収支報告と併せて報告があった。

なお、今回は受講者を例年の半数に規模を縮小して開催したことから、当協会の大きな収入源である事業に負の影響を与えており、今後の対応につき慎重な検討が重要であることも報告された。

##### ③実態調査報告書2019

議長より資料5として標記報告書が提出され、各自で内容を確認するよう促された。

##### ④全国訪問看護事業協会 団体要覧

議長より資料6として標記要覧が提出された。毎年全国訪問看護事業協会が作成配布する「都道府県 訪問看護ステーション団体(連絡協議会)要覧」の当協会の掲載部分で、去年一年間の活動内容が簡略にまとめられているため、事業把握の一助となるよう提出意図が述べられた。

#### 2) 各担当理事より進捗状況の報告

各理事より、資料7を基に各自活動状況が報告された。

#### 3) ブロック活動等の現況(地域の課題等)

議長より、ブロック会の開催ができていない現状において、情報の伝わり方に不安があり、有効な伝達方法の検討が必要であることが述べられ、意見が求められた。

松井副会長より、昨年度の事業である大阪府在宅患者災害対策整備支援事業で各拠点に配備された発電機等のメンテナンス費40,000円が各ブロック会計に計上されていることが伝わっていないことが報告された。

また議長より、「2020年度版 訪問看護のご案内」作成のための回答が、締め切りを2週間余り経過しているにも関わらず、会員から一向に集まらない状況であることも報告された。

理事からの意見としては「オンラインでの情報交換が主となってる現在から鑑みると、各自がWIFI環境を整えることが先決である」、「コロナ禍で各事業所の収益が減少しており会議参加の時間確保が困難である」などの意見が上がった。今後も連携伝達につき、ブロックへ意見を求め、これを集約し、解決案を検討していくこととなった。

#### 4) 大阪府医師会・大阪府看護協会からの情報提供

大阪府看護協会の梶山直美理事より、看護師のための ACP マニュアルを 11 月 3 日完成に向け、最終調整に入っており、ホームページで ACP シートを活用し、進化させる計画につき報告があった。なお今回のマニュアル発行部数は 15,000 部である。

同じく看護協会の藤井照代理事からは、重傷者センター（60 床）で働く人の研修につき 100 名募集しており、8 月は 37 名の応募があり、9 月も引き続き募集中であるとの報告があった。

#### 7. 協議事項

議長より、2021 年度の定時総会につき以下の日程での開催案が提示され、議場で承認された。

2012 年度定時総会開催日：2021 年 6 月 26 日（土）

#### 8. その他

##### 1) 藍野大学認定看護師セカンドレベル研修について

議長より、標記研修は無事終了したとの報告があった。

##### 2) 医療的ケア通学支援事業

理事の活動報告内で、詳細に報告あったため、議長より 8 月 28 日と 31 日に開催の事業者説明会に参加し、不足項目につき、今後も説明を求めることとなった旨の報告に留める。

##### 3) 大阪市短期集中事業について

議長より、標記事業につき 2 年前に市より委託願いがあった際、協会として協力のみに止める意向を伝えており、会長の意見を参考に市中心で進めていることが報告された。

<事業の要旨>

日常生活に支障のある生活行為を改善するために、利用者の個別性に応じて、次のプログラムを複合的に実施

- ・運動器の機能向上 ・栄養改善 ・口腔機能の向上 ・膝痛・腰痛対策
- ・閉じこもり予防・支援 ・認知機能の低下予防・支援 ・うつ予防・支援
- ・ADL/IADL の改善（訪問型サービス C によるアセスメント訪問と組み合わせ、日常生活に支障のある生活行為を明らかにしたうえで実施）

##### 4) 新卒訪問看護師の修了式（2019 年度）および事例発表会について

指名により、高澤副会長から新卒訪問看護師育成事業につき報告があった。

これを受け、コロナ禍のため延期されていた第 3 期生 3 名の総合事例発表会と修了式が 8 月 30 日に集合とオンラインで開催され、「訪問看護師を増やす育てるプロジェクト」による「新卒訪問看護師スタート・プログラム」を実践した成果が優秀な人材育成に反映していることが報告された。

なお、新卒育成に興味を持つ 30 名のオンライン参加者からも好評を得た。

5) オンライン会議の注意事項

議長より、会議のオンライン導入から4か月経過し、利便性の評価がある一方で、会議の長時間化、開催の頻回化、車中での参加など、支障が出始めていることが報告された。

これを受け、注意事項を記した書面を現在作成中であり、完成すれば運営員会等を通じて公開する予定である。

またこれに関連した、著作権についての注意事項が参考資料として提出された。

6) 看護職のための就職フェア

松井理事より、ナースセンターからの広報として、9月26日開催の「地域の病院の出店による看護職のための就職フェア」チラシが提出された、参加者で確認した。

以上をもって本日の議事が終了したので、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長及び監事は記名押印する。

2020年9月3日

会 長 立石 容子

監 事 安田 照美

監 事 雨師みよ子